

シリーズ **日本ゼオンのNo.1**

Vol.2

# 特殊合成ゴム 「Zetpol®」

自動車の安全性能に貢献する、  
高強度の水素化ニトリルゴムです。



ZEON Chemicals L.P. テキサス工場(米国)

**熱** や油に耐え、高強度の特性を持ち、摩耗にも強い、ゼオンの誇る特殊合成ゴムのトップブランドです。エンジンルームなどの過酷な環境下で、その特性をいかんなく発揮する、自動車部品として活躍しております。ゼオングループ全体で年間9,000トンのZetpol®を生産しております。

日本ゼオン株式会社

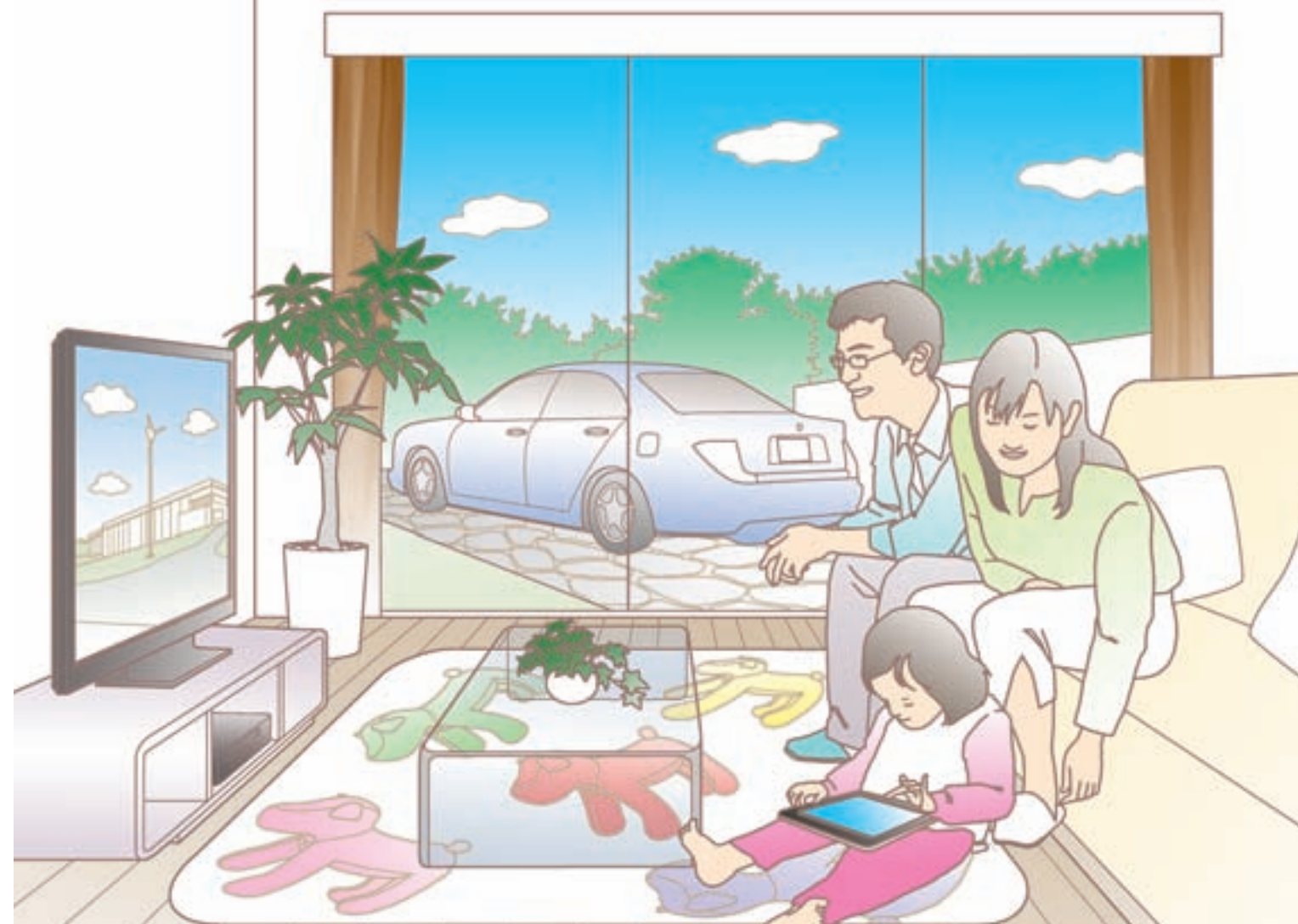
東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)  
〒100-8246 電話 03 (3216) 1772



株主のみなさまへ  
第87期 年度報告書

2011年4月1日 ▶▶▶ 2012年3月31日

日本ゼオン株式会社  
証券コード：4205



# 世界に誇り得る独創的技術で お客様の夢と快適な社会の実現に 貢献します。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第87期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

2012年6月  
取締役社長 古河 直純



## Q 当期の業績はいかがでしたか。

A 当期の経営環境を振り返りますと、国内生産や輸出において昨年3月に発生した東日本大震災の影響から持ち直す動きもみられた一方、長期化する歴史的水準の円高、欧州財政危機や新興国経済の拡大・回復のテンポの鈍化等を背景とする海外経済の減速に加え、期末にかけては原油価格も上昇するなど先行きの不透明感が続き、期を通じては厳しい状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZS運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては販売価格の改定、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と

事業拡大に取り組みました。

この結果、当期の連結売上高は2,628億42百万円と、前期に比べて2.8%の減収となりましたが、連結営業利益は321億23百万円(前期比9.0%減)、連結経常利益は314億87百万円(同6.4%減)と、いずれも過去最高益であった前期に次ぐ成績となりました。連結当期純利益は特別損益の改善が寄与し、前期比4.5%増の191億27百万円と過去最高益を更新しました。

なお、期末配当金は、安定的、継続的な利益配当の方針に基づき、1株について6円とさせていただきました。当期の年間配当金は中間配当を含めると1株あたり11円となり、前期実績から1円の増配となります。

## Q 次期(2012年度)の見通しを聞かせてください。

A 2012年度は、震災復興による国内景気の緩やかな回復が見込まれる一方、原料価格の高騰や円高に加え、欧州の財政問題による景気の停滞、中国をはじめとする新興国の成長率鈍化など、依然不透明な状況が続くものと予想しています。

このような環境のもと、2012年度の連結業績見通しについては、為替相場について1ドル80円、ナフサ価格について1キロリットルあたり63,000円を前提として、連結売上高2,900億円(当期比10.3%増)、連結営業利益320億円(同0.4%減)、連結経常利益300億円(同4.7%減)、連結当期純利益180億円(同5.9%減)を見込んでおります。

## Q 中期経営計画についても一言お願いします。

A 当期は中期経営計画『SZ-20(エスゼット20)』推進の初年度として、計画で掲げました「『2020年のありたい姿』-化学の力で未来を今日にするZEON-」の実現のため、全社事業戦略として「エラストマー素材事業と高機能材料事業のそれぞれの強みを磨き上げ、両輪でグローバルに事業を拡大すること、ならびに「2020年のありたい姿を実現する企業風土を『見える化』をベースに育成することの2点を基本方針として、諸課題に取り組んでまいりました。

1点目の全社事業戦略について、エラストマー素材事業では、シンガポールS-SBRプラントの建設をはじめとするグローバル生産体制の更なる展開を進め、海外生産高



比率を上げてまいります。また、高機能材料事業では、重点3事業分野(情報用部材・エネルギー用部材・メディカルデバイス)での研究開発を加速させ、事業拡大を目指してまいります。

2点目の企業風土の育成に関しましては、当社グループ全員が共有する「重要な価値観(スピード・対話・社会貢献)」を実践し強化する取り組みや、「大切にするゼオンらしさ(仲間との相互信頼)」を育み強化する取り組みを推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# NEWS & TOPICS

4月

9月

- 4月4日  
「瑞翁化成塑料(常熟)有限公司」を設立
- 8月27日、28日 ツバルの森主催  
「IRフォーラム2011東京」出展 **TOPICS2**
- 9月2日 シンガポールで低燃費タイヤ用  
合成ゴム製造プラント起工式を開催
- 9月5日  
「瑞翁(上海)管理有限公司」営業開始

10月

- 10月5日  
独自技術「斜め延伸位  
相差フィルム」新設備が  
完成 **TOPICS1**

11月

- 11月24日  
宝印刷ほか主催  
「個人投資家向け  
会社説明会」  
出展 **TOPICS2**

12月

- 12月7日～9日  
SEMICON JAPAN  
2011 出展

1月

- 1月18日～20日  
インターネフコン  
ジャパン 2012 出展

2月

- 2月13日  
ゼオノアフィルム®を  
ナノインプリント用フィルムに展開
- 2月14日  
ベトナムに加工拠点会社を設立 **TOPICS3**
- 2月15日～17日  
nanotech 2012 出展
- 2月27日  
リチウムイオン電池の高容量蓄電を実現  
—新規負極用バインダー(接着剤)を本格販売—
- 2月28日  
リチウムイオン電池バインダーの  
新製品(正極用)を上市

3月

- 2月29日～3月2日  
第3回 国際二次電池展  
—BATTERY JAPAN—出展
- 3月28日  
野村インベスター・  
リレーションズ主催  
「合同投資家セミナー」  
出展 **TOPICS2**

## TOPICS1

### 『斜め延伸位相差フィルム』 新設備完成

当社独自の技術による「斜め延伸位相差フィルム」の新設備がこのほど富山県氷見市の氷見製造所に完成いたしました。今回の新設備稼働により、生産能力は1,500万㎡/年

となり、今後も大型液晶表示製品やデジタル家電製品の必須部材としてますます期待されます。



## TOPICS2

### 個人投資家説明会に参加

2011年度は個人投資家向けの説明会に3回参加し、身近な暮らしの中にある当社の製品や今後の事業展開を“意外にゼオン”というキーワードで分かりやすく紹介しました。また、それぞれの説明会では展示コーナーを設け、多くの投資家の皆様にご来場いただきました。



## TOPICS3

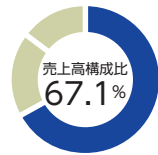
### ベトナムに加工拠点会社を設立

～加工組立事業分野のアジア市場展開を見据えて～

ベトナム北部のハイフォン市に合成ゴム用物流資材(製品名:STEC®)の生産会社、「ZEON MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD」を設立いたしました。

シンガポールでの低燃費タイヤ用合成ゴム製造プラントをはじめ、グローバル展開を進めるゼオングループの加工組立事業分野でのアジア市場展開用拠点として活用してまいります。





## ● エラストマー素材事業部門

売上高 1,775億 47百万円 (前期比 1.6%増)

- 合成ゴム
- 合成ラテックス
- 化成品

**合成ゴム**は、荷練り販売調整の実施により輸出版売が振るいませんでしたが、国内販売は主要用途であるタイヤ向け需要が底堅く、また、原料価格に応じた価格改定を実施したこともあり、好調に推移しました。米国子会社・英国子会社も、ともに前期から売上高を伸ばしました。

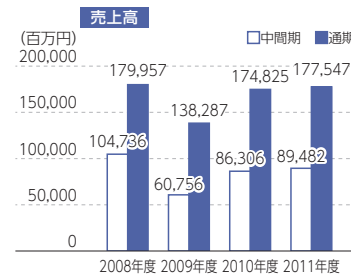
**合成ラテックス**は、震災による製紙用途向けの販売減少の影響が大きく、国内販売は振るいませんでした。輸出版売も荷練り調整等により数量は前年を下回りましたが、価格改定の効果により、売上高は前期を上回りました。

**化成品**は、競合メーカーの事業撤退に伴う引合いもあり、国内販売が好調に推移しました。輸出版売は国内需要増への対応のため、また、タイの石油樹脂子会社は洪水の影響等により、ともに数量を伸ばせませんでした。価格改定を進めた結果、いずれも売上高は前期を上回りました。

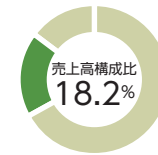
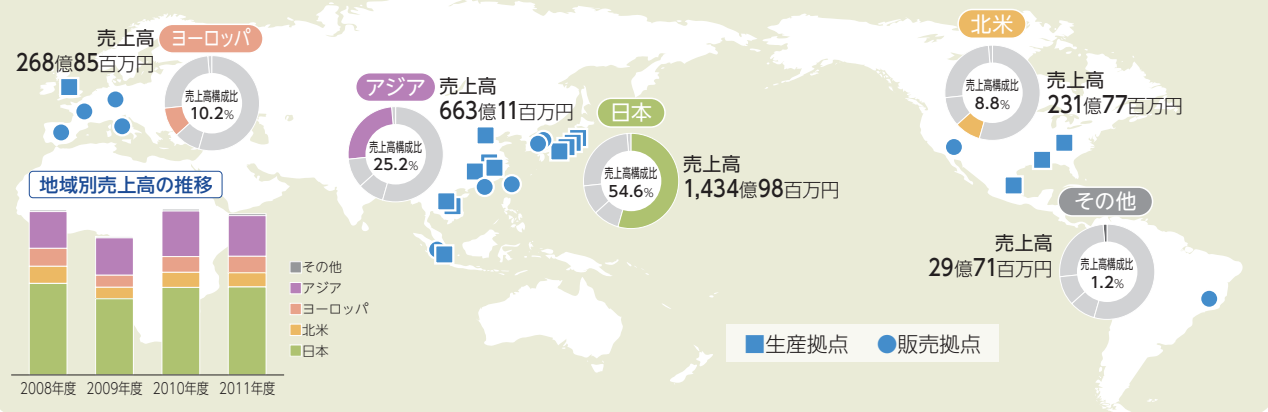
当事業部門全体の売上高は1,775億 47百万円 (前期比 1.6% 増)、営業利益は301億 66百万円 (同 7.3% 増) となりました。



【製品用途例】



### 地域別概況 (全事業部門合計売上高に対して)



## ● 高性能材料事業部門

売上高 481億 34百万円 (前期比 10.7%減)

- 高性能樹脂・部材
- 情報材料
- 化学品
- 医療器材

**高性能樹脂**は、光学用途および医療用途向け樹脂の国内外需要が低迷し、販売数量・売上高とも前期を下回りました。**高性能部材**も、モバイル向け光学フィルム等が堅調に推移した一方、世界的な市況の悪化を受け、TV向け光学フィルムの需要が落ち込みました。

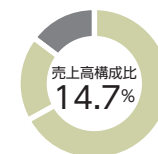
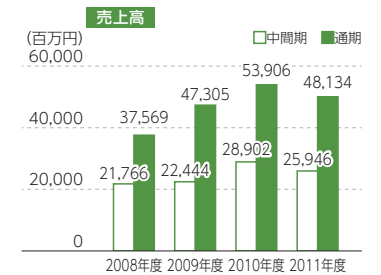
**情報材料**は、電池材料の販売が好調に推移したものの、トナーおよびエッチング用ガスが振るわず、販売数量・売上高とも前期を下回りました。

**化学品**は、特殊化学品の販売が復興需要や拡販により好調に推移した一方、合成香料は欧米での景気減速を懸念する動きが強まったことに伴う需要低迷を受け、販売数量・売上高とも前期を下回りました。

当事業部門全体の売上高は481億 34百万円 (前期比 10.7% 減)、営業利益は4億 91百万円 (同 91.7% 減) となりました。



【製品用途例】

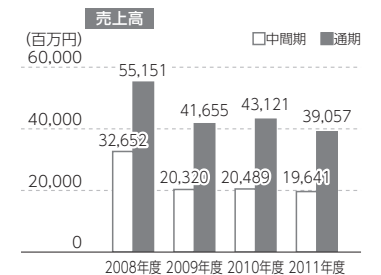


## ● その他の事業部門

売上高 390億 57百万円 (前期比 9.4%減)

- RIM配合液・成形品
- バタジエン抽出技術等の販売 ほか

子会社の商事部門の売上高が前期を下回ったこともあり、当事業部門全体の売上高は390億 57百万円 (前期比 9.4% 減) となりましたが、営業利益は14億 35百万円 (同 20.5% 増) となりました。



※ 2008年度および2009年度の各部門別売上高については、セグメント変更前の区分により記載しております。

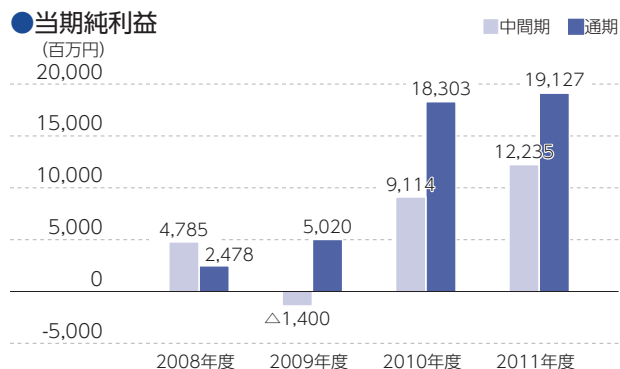
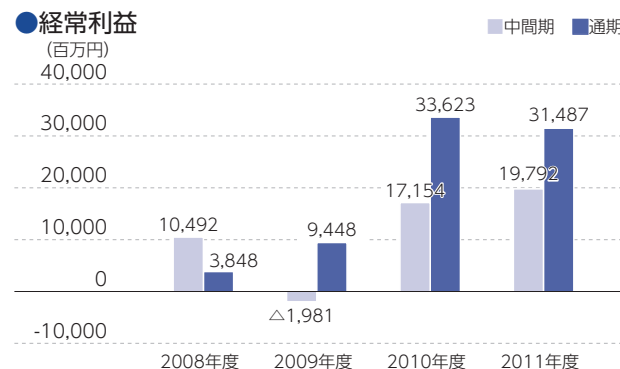
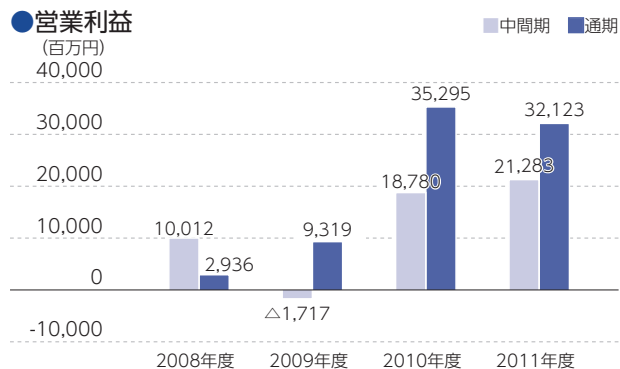
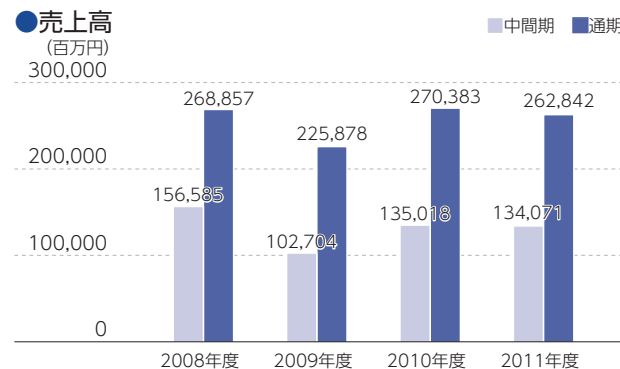
連結財務ハイライト

当期の業績のポイント

**売上高** 2,628億42百万円 ▶ 円高や海外経済の減速、原油価格の高騰などの先行き不透明感の中、売上高は前期からほぼ横ばい  
(前期比2.8%減)

**経常利益** 314億87百万円 ▶ 販売価格の改定や「ZΣ運動」による徹底したコスト削減等に努め、過去最高益だった前期に次ぐ経常利益を確保  
(前期比6.4%減)

**当期純利益** 191億27百万円 ▶ 特別損益の改善が寄与し、当期純利益増加  
(前期比4.5%増)



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 2012年3月31日	前連結会計年度末 2011年3月31日	科目	当連結会計年度末 2012年3月31日	前連結会計年度末 2011年3月31日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	169,244	156,741	流動負債	120,312	105,137
固定資産	142,680	133,855	固定負債	56,133	66,691
有形固定資産	97,774	95,942	<b>負債合計</b>	<b>176,444</b>	<b>171,828</b>
無形固定資産	4,017	3,996	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	40,890	33,917	株主資本	138,340	121,715
<b>資産合計</b>	<b>311,925</b>	<b>290,596</b>	その他の包括利益累計額	△5,889	△6,840
			新株予約権	228	234
			少数株主持分	2,801	3,659
			<b>純資産合計</b>	<b>135,480</b>	<b>118,767</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>311,925</b>	<b>290,596</b>

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 2011年4月1日～2012年3月31日	前連結会計年度 2010年4月1日～2011年3月31日
売上高	262,842	270,383
営業利益	32,123	35,295
経常利益	31,487	33,623
税金等調整前当期純利益	31,404	30,244
<b>当期純利益</b>	<b>19,127</b>	<b>18,303</b>

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

当連結会計年度 2011年4月1日～2012年3月31日				
現金及び現金同等物の期首残高	15,072			
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,009			
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,644			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,960			
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285			
現金及び現金同等物の期末残高	13,192			

資産・負債・純資産について

● 資産の部

現金及び預金などが減少したものの、未収入金、たな卸資産、投資有価証券などの増加により、資産合計は前年度末に比べて増加しました。

● 負債の部

未払法人税等、借入金などが減少したものの、買入債務などの増加により、負債合計は前年度末に比べて増加しました。

● 純資産の部

利益剰余金の増加などにより、純資産合計は前年度末に比べて増加しました。

キャッシュ・フローについて

● 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前当期純利益による資金の増加等により、営業活動で得られた資金は320億9百万円となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー  
主として有形固定資産の取得に資金を振り向けた結果、投資活動で使用した資金は276億44百万円となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー  
長期借入金の返済、配当金の支払など財務活動で使用した資金は59億60百万円となりました。

## 会社の概況 (2012年3月31日現在)

商号 日本ゼオン株式会社 (ZEON CORPORATION)  
 設立 1950年4月12日  
 資本金 242億1千1百万円  
 本社 〒100-8246 東京都千代田区丸の内1-6-2  
 新丸の内センタービル  
 電話03(3216)1772

従業員数 2,857名(連結)

役員  
 取締役社長 古河 直純  
 取締役 南 忠幸(☆)  
 取締役 荒川 公平(☆)  
 取締役 伏見 好正(☆)  
 取締役 田中 公章(☆)  
 取締役 大島 正義(☆)  
 取締役 武上 博(\*)  
 取締役 長谷川 純(\*)  
 取締役 平川 宏之(\*)  
 取締役 伊藤 敬(\*)  
 取締役 伊藤 晴夫  
 常勤監査役 岡田 誠一  
 常勤監査役 岩田 峰郎  
 監査役 藤田 譲  
 監査役 南雲 忠信  
 監査役 森 信博  
 常務執行役員 井上 幹雄  
 執行役員 朝比奈 宏  
 執行役員 桜井 賢典  
 執行役員 梅澤 佳男  
 執行役員 今井 廣史  
 執行役員 三平 能之  
 執行役員 西嶋 徹  
 執行役員 山本 俊一  
 執行役員 黒田 雄三  
 執行役員 藤澤 浩

(☆)の取締役は常務執行役員を兼務しております。  
 (\*)の取締役は執行役員を兼務しております。

## 国内拠点 (2012年3月31日現在)



川崎工場・総合開発センター



高岡工場



徳山工場



水島工場

## 株式の状況 (2012年3月31日現在)

### 株式の状況

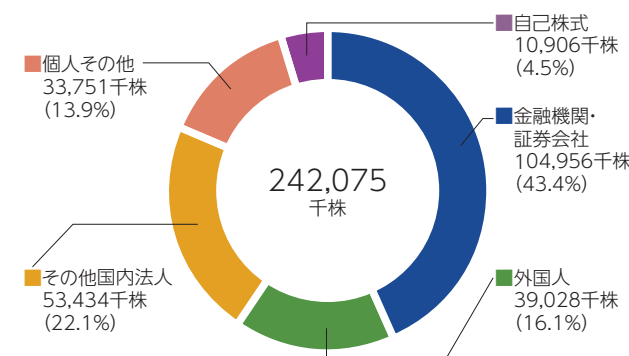
発行可能株式総数 800,000,000株  
 発行済株式の総数 242,075,556株  
 株主数 12,221名(前期末比1,371名減)

### 大株主

株主名	当社への出資状況 持株数(千株)	議決権比率(%)
横浜ゴム株式会社	19,482	8.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,500	5.41
朝日生命保険相互会社	10,679	4.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,823	4.25
株式会社みずほコーポレート銀行	8,770	3.79
全国共済農業協同組合連合会	7,450	3.22
旭化成ケミカルズ株式会社	6,438	2.78
古河電気工業株式会社	5,594	2.42
株式会社みずほ銀行	4,989	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,698	2.03

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は自己株式10,906千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領 3月31日および  
 株主確定日 中間配当を行うときは9月30日

基準日 毎年3月31日(その他臨時に必要なときは、あらかじめ公告します。)

公告方法 電子公告 <http://www.zeon.co.jp/>  
 (ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)

株主名簿 みずほ信託銀行株式会社  
 管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

2012年6月29日より、株主名簿管理人をみずほ信託銀行株式会社に変更いたしました。つきましては、連絡先が以下のとおり変更となります。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 (〒168-8507)  
 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

特別口座の  
 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 (〒168-0063)  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。